

新庁舎建設

庁舎建設実施設計がまとまりましたので、新庁舎の主な特徴をお知らせします。新庁舎は、今年10月から建設工事に着手し、平成30年度に完成する予定です。



待合いロビーイメージ

防災中枢機能

庁舎棟に免震装置を採用し、発電機を備えて、継続的な災害対応が可能な庁舎とします。



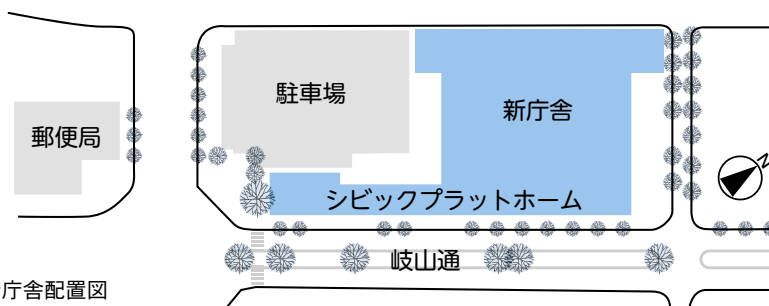
新庁舎外観イメージ

ユニバーサルデザイン

分かりやすい案内表示、シンプルでゆとりのある通路幅など、ユニバーサルデザインに配慮します。

親しみやすさ

岐山通沿いに圧迫感の少ない低層のシビックプラットホームを配置し、象徴的で、かつ、親しみやすい庁舎の顔とします。



新庁舎配置図

パソコン、スマートフォンからYouTubeにアクセスして、「周南市 新庁舎」で検索すると3次元デジタル空間データを見ることができます。2次元コードからの読み取りはこちらから。



待合スペース

庁舎棟1階に十分な広さの待合いロビーを設けます。

ワンフロアサービス

利用者の多い窓口を低層階に集め、できるだけワンフロアで手続きが完結する窓口とします。

駐車・駐輪スペース

来庁者用の駐車、駐輪スペースを十分に確保します。(自動車160台、バイク11台、自転車52台)

にぎわい機能

シビックプラットホーム内に、市民利用会議室、飲食施設、売店を設け、街並みに対してにぎわいを創出します。

執務室

間仕切りのないオープンフロアを採用し、明るく見通しを良くします。吹き抜けを庁舎棟の中心に据え、窓口が周囲を取り囲む口の字型の施設構成とします。

環境配慮

吹き抜けを利用した重力換気システム、太陽光発電設備の採用、屋根・外壁・窓ガラスの高断熱化、免震層にクール・ヒートレンチ(地下溝)を設置し、地熱を利用する空調システムなどにより環境負荷の軽減を図ります。